



▲風づくり教室(郷土博物館)

第4回定例会

仮称浦安市斎場建築関係  
3議案を可決

平成14年度決算認定ほか13議案を可決

平成15年第4回定例会は、11月28日より12月19日まで開催されました。この定例会では、市長から提出のあった補正予算6件、条例の一部改正2件、契約の締結3件、人事案件1件、その他1件が審議され、全議案が可決されたほか、議員から提出された発議4件を採決し、うち1件が可決されました。

また、第3回定例会から継続審査となっていた平成14年度各会計歳入歳出決算が認定されました。

議決内容

●補正予算

◎ 一般会計補正予算(第5号)  
(全員賛成)

歳入歳出それぞれ五億七三二五万円を追加し、予算の総額を四九三億八〇七四万円とした。

◎ 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(全員賛成)

歳入歳出それぞれ五億三〇九〇万円を追加し、予算の総額を八億二九四〇万円とした。

◎ 交通災害共済事業特別会計補正予算(第2号)(全員賛成)

歳入歳出それぞれ三〇一七万円を追加し、予算の総額を三〇一七万円とした。

◎ 老人保健特別会計補正予算(第1号)(全員賛成)

歳入歳出それぞれ八五四万円を追加し、予算の総額を四八億六八五四万円とした。

◎ 墓地公園事業特別会計補正予算(第2号)(全員賛成)

歳入歳出それぞれ四八二万円を追加し、予算の総額を五億一六五二万円とした。

◎ 介護保険特別会計補正予算(第2号)(全員賛成)

歳入歳出それぞれ二九二二万円を追加し、予算の総額を二二億六八三二万円とした。

●条例の一部改正

◎ 行政組織条例(全員賛成)  
建設部及び都市整備部の事務分掌を改めるとともに、地方自治法の改正に伴い引用条項を改めた。

◎ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(全員賛成)

●契約の締結

◎ 仮称浦安市斎場建築工事請負(賛成多数)

仮称浦安市斎場建築工事請負契約を戸田建設㈱と一億九千三二〇万円で締結した。

◎ 仮称浦安市斎場電気設備工事請負(全員賛成)

仮称浦安市斎場電気設備工事請負契約を新生テクノス㈱と三億六二二五万円で締結した。

◎ 仮称浦安市斎場機械設備工事請負(全員賛成)

仮称浦安市斎場機械設備工事請負契約を㈱テクノ菱和と五億三五五〇万円で締結した。

●発議

◎ 基礎年金の国庫負担割合を2004年度から2分の1に引き上げることを求める意見書(否決)

◎ 自衛隊のイラク派兵に反対する意見書(否決)

◎ 「企業からの資金提供問題調査特別委員会」の設置について(否決)

◎ 東京湾アクアライン通行料金値下げ要望に関する意見書(可決)

●報告

◎ 定期監査の結果について  
例月出納検査の報告について(7・8・9月分)

◎ 寄附受入れについての報告

●その他

◎ 浦安市市川市病院組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について(賛成多数)

●人事案件

◎ 固定資産評価審査委員会委員の選任について(全員賛成)



小泉 允園 氏  
世田谷区上野毛 4-27-9

日程表

月日	曜日	日程
11/28	金	開会、会期の決定、提案理由の説明、平成14年度決算採決
12/5	金	会派代表による総括質疑、議案・陳情各委員付託、議案第12号採決、人事案件採決
8	月	教育民生常任委員会
9	火	建設経済常任委員会
10	水	総務常任委員会
15	月	委員会審査結果報告・採決、一般質問
16	火	一般質問
17	水	一般質問
18	木	一般質問
19	金	閉会

市議会第1回定例会のお知らせ

市議会第1回定例会は2月23日(月)から開かれる予定です。

会期や審議日程は、2月19日(木)の議会運営委員会で決定され、公民館等やホームページにも掲示されます。

本会議を傍聴される方は、傍聴人控室で会議当日に受付をいたします。

なお、各常任委員会等は、委員長の許可を得て傍聴することができます。

車椅子での傍聴もできますので、議会事務局までご連絡ください。



# 一般質問

第4回定例会では、12月15・16・17・18・19日の5日間にわたり辻田明(清和会)、内田悦嗣(政新クラブ)、広瀬明子(無所属)、岡本善徳(政新クラブ)、田所由香(無所属)、山崎次雄(無所属)、元木美奈子(日本共産党)、森野卓郎(日本共産党)、井原めぐみ(日本共産党)、石井清(無所属)、折本ひとみ(無所属)、金子喜一(公明党)、秋葉要(公明党)、丹下剛(無所属)、杉浦哲(無所属)、空岡信耶(無所属)の各議員より市政全般に対して活発な論議が展開されました。

ここでは、紙面の関係でその一部を掲載いたします。

## 防犯体制について

**問** 市長は市役所としてどのよう  
に防犯体制をお考えでしょ  
うか。また、市の最高責任者とし  
て市民の安心、安全をどのように  
認識されているのか伺います。

**答** 市長 住民の福祉の増進  
の大前提は、地域住民が安全  
に、安心して生活できることだと  
認識しています。

本市の基本構想で、「利便の高い  
暮らしを支える安全都市」を都市  
像の一つとして、基本計画では防  
犯体制の確立を掲げています。

これらを実践するために、市で  
は犯罪予防の観点から道路等に街  
路灯の設置を行ってきたほか、市  
民の防犯意識の高揚を目的として  
広報うらやすやイベントなどで啓  
発活動をしてきました。また自主  
防犯パトロール等に取り組んでい  
る浦安市防犯協会に対する補助金  
による支援等を行い防犯活動の促  
進を図ってきました。

防犯について一義的には警察の  
業務ですが、積極的に取り組んで  
いくことは自治体に課せられた大  
きな責務であると認識しています。  
しかし、行政だけでなし得るも  
のではありませんので自治会など  
地域の皆様とともに、また、浦安

## 子どもたちが伸び伸び育つ環境づくりについて

**問** 元町、中町地域の学校間格  
差、大規模校、小規模校の  
問題等が解消できないまま現在に  
至っていることに対して、市長は  
どのようにお考えになられているの  
か、現状での認識と、今後の取り  
組みの方向をご説明いただきたい。

**答** 市長 中町地区の多くの  
学校では、以前は仮設校舎で  
の対応時期もあり、今は小規模化  
が問題となり、新町地区の学校で  
は、開校当時は児童・生徒が少な  
く、その後の住宅開発に伴い大規  
模化し、また、新たな学校建設が  
必要となってきました。

小・中学校の学校規模は、住宅  
開発や居住する家族の構成など  
により、大きく影響を受けるとい  
うのが実情です。学校間で児童・生  
徒数にある程度の格差が生じてし  
まうのは仕方がない一面もありま  
す。しかし、学校規模が大き過ぎ  
たり小さ過ぎたりすることにより、  
児童・生徒において、さまざまな  
課題や問題が生じてくる場合もあ  
るものと考えています。

今後は、小規模学校選択性の実

## 平成16年度予算案の概要について

**問** まず、事件の概要について、  
括弧がついていますが、一応  
殺人未遂事件であったらと思う  
います。これについて、事件をど  
のように教育委員会は把握したの  
か、事件を把握する大前提として、  
この該当する学校から当然報告書  
が上がってきたと思います。  
その報告書を通して教育委員会  
はどのように認識したのか伺いま  
す。

**答** 教育長 事件の概要ですが、  
殺人未遂というところでの事故  
報告が上がっておりません。  
この月に傷害事件という部分の  
事故報告は受けていますので、そ  
の件ということでお答えしたいと  
思います。

事件の概要ですが、当時の事故  
報告書によると、本市の公立学校  
の教員が家庭訪問をするために車  
からおりて鍵をかけたところ、こ  
ころ、背後から来た男3人組が言  
いがかりをつけてその後一人がスバ  
ナで殴りかかっていたので、相手  
の腕を抑え、その男性とともに倒  
れた。そして相手を押さえつけて  
いるところを、他の二人が教員の  
脇腹に蹴りを何回も繰り返してき  
たというものです。駐車場に人が  
来たのを見て、三人組は2  
台の原動機付自転車その場から  
逃げ去ったというものです。

## テロ防止対策について

**問** S、オフィシャルホテル群に  
ついて、テロ防止にかかわる対策  
についての要請や確認を行ってい  
るのかどうか伺います。

**答** 浦安市では、TDL、T  
D、オフィシャルホテル群に  
ついて、テロ防止にかかわる対策  
についての要請や確認を行ってい  
るのかどうか伺います。

また、関係者による自主的な対  
策として、入場者の管理、人数、  
男女別、年齢層、外国人の割合、

ホテルの平均滞在日数など、もし  
市の方で確認をされているのであ  
れば伺います。

## 循環型社会を目指す廃棄物対策について

**問** 指定袋の導入の目的と導  
入時期を説明していただきたい。

**答** 環境部長 目的は、廃棄物  
排出量の一層の削減、分別取  
集の徹底による資源の推進、  
取集作業の安全性の確保、廃棄物  
減量に対する市民意識の高揚など  
をより推進していくことを目指し  
たものです。

導入は、第1次実施計画では平  
成16年からとしましたが、導入に  
際し諮問をした廃棄物減量等推進  
審議会の答申で、容器包装リサイ  
クル法に基づき平成17年度から市  
が新たな分別対象に予定している  
その他プラスチック及びその他紙  
製容器包装ごみの収集と合わせて  
導入を行った方が、市民の協力が  
得やすいとの見解が示されたこと  
もあり、これまで平成17年度を指  
定袋制並びに包装容器リサイクル  
法に基づく分別取集完全実施の導  
入時期としてきました。しかし、  
完全実施後3年を経過した容器包  
装リサイクル法には、現在さまざま

## 平成16年度予算について

**問** 千葉県においては市町村向  
け補助事業のうち9事業を廃  
止することですが、浦安市に  
対し何か関係するものはあるのか  
ないのか、その点について伺いま  
す。

**答** 市民経済部長 市民経済部  
の関係ですが、千葉県国民健  
康保険基盤強化推進事業補助金  
が廃止になると聞いています。

**答** 保健福祉部長 保健福祉部  
所管の事業では、高齢者就業  
機会確保事業補助金について補助  
がありましたが、平成16年度につ  
いては廃止されます。

**答** 消防長 消防に対する補助  
金の今回の見直しについては、は  
しご車、救助工作車、高規格救急  
車などの消防車両や通信施設など  
の整備などを対象に、国庫補助金  
に併せて県の上乗せ補助金の制度  
がありましたが、この上乗せ補助金  
が高規格救急車、高度救命処置用  
資機材を除いて廃止になる見込み  
です。

## 入札について

**問** 今年6月に寄せられた下水  
道工事談合情報に対して、本  
市はどのように対応して、処理を  
してきたのか伺います。

**答** 経営企画部長 本年6月12  
日に報道関係者により、入札

執行前及び入札執行済みの2件に  
関し、情報が契約管財課に寄せら  
れました。その後、談合情報対応  
マニュアルに基づき浦安市公正入  
札調査委員会委員長である助役  
に報告し、委員会を開催することに  
決定しました。同日に第1回目の  
会議を開催し、各委員に状況を報  
告し、早急に2案件に係るしてい  
る業者に対し、事情聴取を行うこ  
とに決定しました。その後、6月  
16日に当該業者に対し事情聴取を  
行い、翌日に第2回目の調査委員  
会を開催し、各委員に事情聴取結  
果を報告しました。さらに、6月  
20日に第3回目の委員会を開催し、  
業者名を公表していない案件にも  
かわからず1業者が落札業者とさ  
れたことから、入札中止が妥当で  
あるといたしました。さらに、6  
月25日、第4回目の委員会を開  
催し、入札が終了している案件につ  
いては、誓約書を取り交わしての  
工事の続行を決定しました。本2  
案件については、7月1日に公正  
取引委員会に係属書類を添付のう  
え、報告しました。

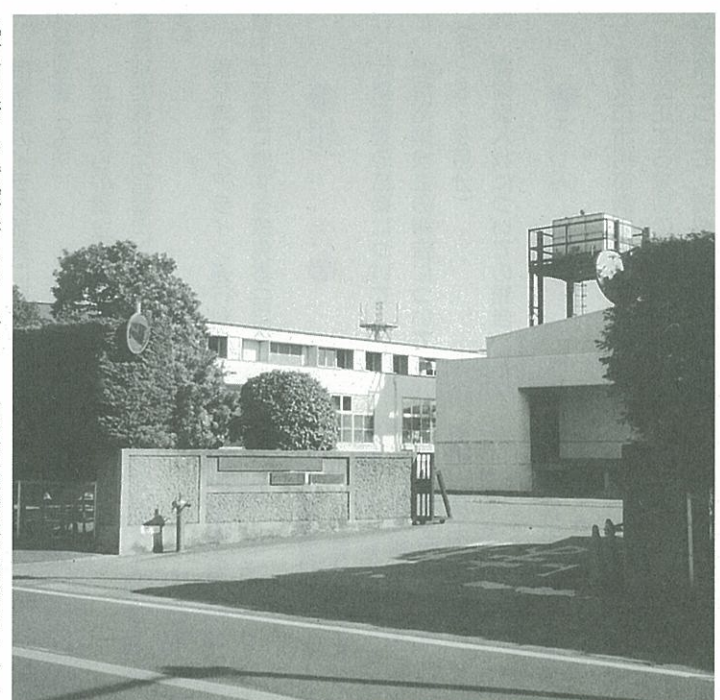
## 給食センター建設について

**問** 平成15年3月付けで浦安市  
学校給食センター建設基本計

画策定業務報告書が出されました  
が、今も大幅な変更がなく進めら  
れているのか、変更があれば、ど  
んな点が変わっているのか、ま  
た、PFI事業として実施する効  
果として、単年度支出の縮減が図  
られ、財政難にある自治体にとっ  
て事業推進面で効果が大きいとあ  
ります。市の財政当局は財政難  
にある自治体と認識しているのか  
どうか伺います。

**答** 教育総務部長 基本計画策  
定業務報告書は、あくまでも  
PFIの可能性の調査ですので、  
今後については建設検討委員会  
で検討していくこととなりますので、  
その過程の中で変更を明らかにし  
ていきたいと考えています。

**答** 市長 基本計画策定業務  
報告書にある財政難にある自  
治体という表現は、本市のことを  
指しているわけではなく、一般的  
な表現であると考えています。  
しかし、給食センター建設年度  
の平成17年度は、小学校2校及び  
中学校1校の建設等があり、財政  
調整基金を相当程度繰り入れる必  
要があると考えられるので、報告  
書に記載されている財政支出の平  
準化については、本市にとっても  
大きなメリットと考えています。



▲現在の学校給食センター(東野)



### 市長の政治姿勢について

2度の辞職勧告決議の可決にあつたにもかかわらず、1票だけという不信任決議案を受け、この事態をどう認識されているのか改めて伺います。また、執行停止の申し立てが県知事に却下された2月25日の夜、弁護士を伴って開かれた緊急記者会見は、個人としてか市長としてか、「ボイス・オブ・松崎」は個人としての発行か、さらに、松崎優子氏が告発決議される直前に賛成議員を告発する旨を記した3月19日付文書を議会に持参したのは市長でしたが、さきの6月議会でも夫として持ってきたと答弁をされていますが、これは個人としての行為なのか、市長としての行為なのか確認の意味で伺います。

**市長** それぞれの決議については、議決は議決として受けとめてお返し申し上げて、気持ちには変わっていません。

2月25日の記者会見は政治家松崎ということでご理解をいただきたいと思います。

持参した文書は、夫として持参したということは前も答弁したとおりです。



▲仮称中大通り線と周辺地区整備予定地

### 元町地区の再整備について

元町の道路について、9月議会の市長の答弁の中で、道路の用地を買収し、狭い道の拡幅整備事業には地元住民の皆様のご理解と協力が不可欠で、こちらの話し合いに非常に時間を要するとのことでした。

そして、不具合のあるところなど、できることから整備、手直ししてほしいと要望して終わりましたが、今回さらに踏み込んだ考え方を期待して、再度質問します。

**市長** 事業の具体化に当る皆様の理解が重要不可欠だと考えています。

住民の皆様のご理解を得るべく、現在話し合いに時間を要しているのが実情です。

当然として、地区住民のご意見もさまざまあることから、さらに加えて、関係権利者の理解を得ることに大変な努力と、さらに時間がかかっているところではあります。これはもとより覚悟の上とは申しながら、できるだけ多くのコンセンサスを得られるよう、今後と

### 浦安市の防犯対策について

犯罪のない安全な生活環境、これは市民の誰もが望んでいることだと思いますが、基本計画の中にある施策として、具体的にどのようなことを行っているのか伺います。

さらに、防犯カメラ設置への展望として、前回、検討していくという答弁をいただいたが、その後の進捗状況について伺います。

**市長** すべての市民が犯罪から守られ、安心して暮らせることができるよう、防犯面でのまちづくりを実現することは、市民が最も望んでいることであり、また、重要なことであると思っております。これまで市として、

犯罪予防の観点から道路等に街路灯の設置を行うとともに、広報うらやすや防犯キャンペーン、防犯研修会の実施などにより、市民の防犯意識の高揚に努めてきたほか、各自治会を支部とする浦安市防犯協会に補助金を交付するなどの支援を行い、防犯活動の促進を図ってきたところであります。

**市民経済部長** 現時点では、市内全体の防犯対策の推進をどのように行っていくか、予算面を含めて検討を行っているところですが、防犯カメラの設置についての具体的な検討には至っていません。

また、事業の迅速化を図るための事業用地の先行買収を行うとともに、現況測量と概況基本調査が終了しています。

しかし、住民及び関係権利者などの理解を得ることがいまだに十分であり、なかなか賛同が得られないことから、計画の具体化には至っていない状況にあります。

**都市整備部長** アンケート調査や住民からの要望書などから、事業を早期に進めてもらいたいという意見のほか、一方で幅員18メートルの必要性や広幅員による地区の分断を心配する意見や区画整理事業については、土地の減歩や換地、家屋補償など不安を感じている意見も寄せられているところであります。

**環境部長** 最近の集合住宅のごみ集積場の設置形態はどのようになっているのか。

また、減量対策、リサイクル対策、衛生面、散乱防止に対する行政指導はどのように行っているのか併せてご答弁ください。

**環境部長** 最近の集合住宅のごみ集積場の設置形態については、浦安市宅地開発指導要綱に基づき、5戸以上の集合住宅を建設する場合、ごみ集積場を設置することになっております。

基本的な設置形態は、住宅戸数に0.2平方メートルを乗じた面積に高さ1.8メートル以上の扉及び擁壁に屋根を設け、給水・排水設備を整備した集積場を設置していただいております。

この際、内容が異なる場合は指導をし、指導後の完成写真等を提出していただいております。

また、管理責任者に管理の徹底をお願いしているところであります。

**健康診断の運営について** 健康診断は平成14年度の決算で約三億円で、非常に重要な分野です。

健康診断の厚生労働省の指針は老人保健法に基づく老人保健福祉サービスとして基本健康診断及び各種がん検診を市民対象の成人検診として行うものと理解してありますが、がん検診は55パーセントの受診率があり、市民の非常に高い関心が持たれています。

がん検診の場合、例えば胃がんや大腸がんといった、対象とするがんの種類はどの程度行政の判断で選ぶことができるのか教えていただきたいと思っております。

**保健福祉部長** がん検診に關して、厚生労働省の指針ですが、国ががん検診を実施するに至った背景としては、がんの死亡率が国における総死亡の約3割を占めているということから、壮年期からの健康づくりと予防、早期発見、早期治療を図るとともに、自分の健康は自分で守るという自己責任の意識の普及を図るといったことが書かれています。

そうした中で、国はがん検診実施のための指針を示していますが、これを踏まえた老人保健法で定める国や地方自治体の責務、地域の年齢構成や病の状況などを参酌していくものと考えています。

**市長** 10月15日に各部課長等に通知しています。

その基本的な考え方として、基本計画に掲げた7つの重点プラン及び現在策定を進めている第2次実施計画における事業に重点的に予算を配分すること。2、都市経営の視点に立って、また浦安市行政改革大綱や事務事業評価などを踏まえ、実施主体が行政でなければならぬかどうか、公的関与の必要性や費用対効果などについて事業の存廃を含めた見直しを行うこと。3、事務的経費を除く各所属の自主性を高めるため、予算編成枠を設定する中で部長のリーダーシップのもと、提示された枠内で各所属の責任で予算編成を行うことの3点を掲げています。

また、節目の年度という考えは入っていませんが、節目、節目で日々当たり前のようになっている事業を検証し、システムの見直しを図っていくことも大変意義のあることと思っております。

**市長** 不正云々のキャッチフレーズ、コピーに対してどう答えるかというお尋ねですが、一切の不正は行ってはいないということですが、辞職云々についても、絶えず初心に返りながら与えられた職責を責任を持って果たしていきたいと考えています。

新年度予算編成については、本市は他の自治体と比較すると比較的健全な財政状況と言えますが、少子・高齢化の進行や高度情報化の進展など、基本構想に定めた施策の大綱に沿った具体的な政策を展開していくかなければならないと思っております。

新年度予算編成に当たり、限られた財源の中で施策の優先順位を明確に見きわめながら、これらの諸施策の具体的な展開を図っていただきたいと考えています。

**市長** 平成12年度にこの整備区域内の住民及び権利者

を対象に説明会を開催し、事業計画の内容、事業計画スケジュールを提案させていただくとともに、アンケート調査を実施してまいりました。

また、事業の迅速化を図るための事業用地の先行買収を行うとともに、現況測量と概況基本調査が終了しています。

しかし、住民及び関係権利者などの理解を得ることがいまだに十分であり、なかなか賛同が得られないことから、計画の具体化には至っていない状況にあります。

### 第5回臨時会の議決内容

平成15年第5回臨時会が11月17日に会期1日をもって開催されました。この臨時会で市長から提案のあった議案は次の12議案です。

- 専決処分承認を求めるとして(一般会計補正予算(第3号))
- 一般会計補正予算(第4号)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 学校給食センター特別会計補正予算(第1号)
- 交通災害共済事業特別会計補正予算(第1号)
- 公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 墓地公園事業特別会計補正予算(第1号)
- 介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例
- 教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例
- 一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

審議は、委員会への付託が省略され本会議で行われましたが、採決の結果、全議案が可決されました。

**市長** 10月15日に各部課長等に通知しています。

その基本的な考え方として、基本計画に掲げた7つの重点プラン及び現在策定を進めている第2次実施計画における事業に重点的に予算を配分すること。2、都市経営の視点に立って、また浦安市行政改革大綱や事務事業評価などを踏まえ、実施主体が行政でなければならぬかどうか、公的関与の必要性や費用対効果などについて事業の存廃を含めた見直しを行うこと。3、事務的経費を除く各所属の自主性を高めるため、予算編成枠を設定する中で部長のリーダーシップのもと、提示された枠内で各所属の責任で予算編成を行うことの3点を掲げています。

また、節目の年度という考えは入っていませんが、節目、節目で日々当たり前のようになっている事業を検証し、システムの見直しを図っていくことも大変意義のあることと思っております。

**市長** 不正云々のキャッチフレーズ、コピーに対してどう答えるかというお尋ねですが、一切の不正は行ってはいないということですが、辞職云々についても、絶えず初心に返りながら与えられた職責を責任を持って果たしていきたいと考えています。

新年度予算編成については、本市は他の自治体と比較すると比較的健全な財政状況と言えますが、少子・高齢化の進行や高度情報化の進展など、基本構想に定めた施策の大綱に沿った具体的な政策を展開していくかなければならないと思っております。

新年度予算編成に当たり、限られた財源の中で施策の優先順位を明確に見きわめながら、これらの諸施策の具体的な展開を図っていただきたいと考えています。

**市長** 平成12年度にこの整備区域内の住民及び権利者

を対象に説明会を開催し、事業計画の内容、事業計画スケジュールを提案させていただくとともに、アンケート調査を実施してまいりました。

また、事業の迅速化を図るための事業用地の先行買収を行うとともに、現況測量と概況基本調査が終了しています。

しかし、住民及び関係権利者などの理解を得ることがいまだに十分であり、なかなか賛同が得られないことから、計画の具体化には至っていない状況にあります。

**市長** 平成12年度にこの整備区域内の住民及び権利者

を対象に説明会を開催し、事業計画の内容、事業計画スケジュールを提案させていただくとともに、アンケート調査を実施してまいりました。

また、事業の迅速化を図るための事業用地の先行買収を行うとともに、現況測量と概況基本調査が終了しています。



# 会派代表 総括質疑

第4回定例会では、12月5日の本会議において、4人の議員がそれぞれの会派を代表して質疑を行いました。ここでは、紙面の関係で主な質疑及びその答弁の要旨について掲載いたします。

## 政新クラブ

**問** 電子入札システムの導入については、県内で初めてと聞き及んでいますが、他市に先駆けていち早く導入を決めた要因は何かあるのでしょうか。

**答** 時期的な問題としては、本市は来年度以降、小学校、中学校関連の大規模公共工事が集中するなど他市にない状況となっていることから、より一層の透明性・公平性確保の観点からシステムを導入することとしました。

**問** 交通災害共済会費収入更正減について、当初予算時の加入見込みと現状の加入数についてご説明をいただきたいと思ひます。

**答** 平成15年度当初予算では交通災害共済会費収入をこれまでの加入実績等を参考に35000人と見込んでおりましたが、11月末現在の加入数が約30800人と昨年の同期と比較すると約4000人少ない状況となっています。これまでの加入状況を参考にすると、平成16年3月までの加入数は約31200人と見込んでいます。

**問** 介護保険で介護認定調査経費追加について、当初予算時の認定見込みと現状の認定数、さらには今後の認定の見込みについてご答弁いただきたいと思ひます。

**答** 認定者の当初見込みは、第2期介護保険事業計画で平成15年度の要介護認定者数を1592人と推計しましたが、本年10月末の段階で1756人と予想以上の伸びを示しています。

**問** また、今後の年度内認定者数についても、さらに1000人程度の増加が見込まれる状況にあります。

**答** 行政組織条例の改正について、改正するに至った経緯、そして改正によって得られる効果をご説明いただきたいと思ひます。

**答** 交通安全及び自転車対策に関する道路管理と密接な関係があることから、より効率的で円滑な処理が行えるように建設部の所管とする考えです。また、都市交通については、都市交通計画や輸送計画の調整など都市としての総合的な計画との整合性を図る必要があるという考えから都市整備部に残すこととします。

## 清和会

**問** 電子入札システム構築経費について、この時期に検討経費として補正計上されていますが、どのような検討がされていくつもりなのか、検討内容をお伺いいたします。

**答** 主な検討内容は、総務省、国土交通省が導入しているシステムの概要、機器構成、提供時期、提供価格、データ連携の費用等の収集と整理、横須賀市、江戸川区などの先進自治体のシステムの概要、システム化の範囲、機器構成、導入経費、課題等のデータ収集と整理を行い、本市に適したシステム案、経費、スケジュール等の検討を行うものです。

**問** 行政組織条例の一部改正について、今回の組織改正の背景はどのようなものなのか、またどのような効果があるのかお伺いいたします。

**答** 効果が期待されているのか伺います。また、3月議会ではなく、12月議会での提案する意味はどうか伺います。

**問** 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正もなされている選挙制度改革について、今回期日前投票制度が導入された背景はどのようなものがあるのか伺います。

**答** これまで不在者投票制度は投票用紙に記載後、これを内封筒、外封筒に入れ、外封筒に選挙人の署名が必要であったことなどから、選挙人からの不在者投票の改善を求める声が多くありました。期日前投票制度が創設された背景としては、これら選挙人からの改善を求める声を踏まえ、選挙人の投票環境のさらなる改善を図るものとして不在者投票制度の見直しが行われたものです。

## 公明党

**問** 一般会計補正予算で、財政調整基金利子及び庁舎増築基金利子追加がそれぞれ一五万二〇〇〇円、一三万八〇〇〇円計上されていますが、この追加補正の理由について伺います。

**答** 追加補正については、当初見込んでいた利率を若干上回る率で金融機関に預けることができたことから、今回追加計上するものです。

**問** 運用の形態については、ペイオフの関係からほとんどを普通預金としていますが、一部はUFJ銀行の土地開発公社の借入金に対する債務保証残高の範囲内で定期預金としていたり、また、東京ペイ信用金庫での縁故債の借入の範囲内で定期預金としていたりするのは、郵便局へ定期貯金をしてい

また、運用先は、財政調整基金が浦安郵便局、市川市農業協同組合ほか市内に支店のある7つの銀行や信用金庫に、また庁舎増築基金が市川市農業協同組合のほか市内に支店のある4つの銀行や信用金庫となっています。

**問** 交通災害共済事業の本年度現在までの事故件数と見舞金支給の件数の内訳について、また全世帯に加入申し込み用紙を郵送していることですが、PRはどのように行っているのか、併せて、共済基金の積立額はどの程度になっているのか伺います。

**答** 本年4月1日から11月末現在までの見舞金の支払い件数は126件で、支払い総額は約一三七万円となっています。見舞金支払いに係る交通事故の主な内容は、車同士の事故が51件、車と自転車の事故が25件、車と人の事故が7件、自転車同士の事故が5件となっています。

**問** 加入PR方法については、去る8月に全世帯に加入申込書を送付し、広く市民の皆さんに交通災害共済制度をお知らせするとともに、加入のPRを行ったところですが、今後この制度のPRに努め、加入率の向上に努めていきたいと考えています。

**答** また、基金の額は11月末現在で約二七〇〇万円となっています。

## 日本共産党

**問** 一般会計補正予算で教育費県補助金の新しい居場所づくり支援事業補助金について、12月1日から不登校児童・生徒の新しい居場所として、オープンスクールWishが集合事務所内の青少年館にオープンしました。

この受入れ児童・生徒数はどの程度なのか、また指導の体制はどうなっているのか伺います。

**答** 受入れの対象としては、原則として学校にも指導教室にも通級できない不登校児・生徒とするものです。受入数は、小中学生合わせて20名程度と考えています。

**問** 介護保険特別会計補正予算に関連して、65歳以上の年金一五〇〇〇円以下の普通徴収者の方が滞納をされた場合、一定の期間滞納すると介護保険サービスの対象外に置かれてしまう事態になります。

**答** こうした層への実態調査はなかなか困難と推察しますが、現在の職員の体制で調査にどのような困難を抱えているのか伺います。

**問** 現行の体制で認定調査が困難ということはありますが、申請者数が予想以上の伸びを示して、今年度末には2600人程度と当初より2割近い増加が見込まれる状況となったことから、増額補正をお願いしているところですが。

**答** 斎場工事請負については、斎場への交通アクセスはどうするか伺います。

**問** 葬儀に伴う斎場利用者の交通手段は、火葬の場合は通常遺族が車で来場してきますが、近隣の状況を見ると、斎場施設で一般会葬者のための交通手段をとっているところはなく、遺族の方が必要と考えた場合、遺族側でマイクロバス等を用意しているとのことですが。

**答** 本市の斎場においてもこの点をどのように考えていくのか、検討事項の一つと考えているところですが。

## 議員出席表

平成15年の議員出席表がまとまりました。なお、表に記載してある会議の他に調査視察や研修会等が開催されています。また、議員は議会外の活動として各種団体の会合等にも出席しており、正副議長も各委員会等に随時出席していますが、この出席表には記載していません。

(平成15年4月30日～平成15年12月31日)

議席	議員名	本会議		総務		教民		建設		特別委員会		議連		全協		議会		合計	出席率	遅刻	早退
		出	欠	出	欠	出	欠	出	欠	出	欠	出	欠	出	欠	出	欠				
1	元木美奈子	24	0			6	0	4	0	15	0	1	0			50	0	100.0			
2	井原めぐみ	24	0	6	0			4	0							35	0	100.0			
3	森野 卓郎	24	0			6	0			4	0			1	0	6	0	41	0	100.0	
4	丹下 剛	24	0			6	0			4	0			1	0	6	0	41	0	100.0	
5	折本ひとみ	24	0			6	0	4	0			1	0	6	0	41	0	100.0			
6	石井 清	24	0			6	0			4	0			1	0	6	0	41	0	100.0	
7	空岡 信那	24	0	6	0					4	0	15	0	1	0			50	0	100.0	
8	山崎 次雄	24	0	5	1					4	0	14	1	1	0			48	2	95.8	
9	田所 由香	24	0	6	0					4	0	15	0	1	0			50	0	100.0	
10	広瀬 明子	24	0			6	0	4	0			1	0	6	0	41	0	100.0	1		
11	秋葉 要	24	0			6	0			4	0			1	0	35	0	100.0			
12	金子 喜一	24	0			6	0	4	0	15	0	1	0	6	0	56	0	100.0			
13	杉浦 哲	24	0			6	0	4	0	15	0	1	0			50	0	100.0	1		
14	小泉 芳雄	24	0			6	0	4	0			1	0			35	0	100.0			
15	平野 芳子	24	0			6	0			4	0	15	0	1	0			50	0	100.0	
16	岡本 善徳	24	0			6	0			4	0			1	0	6	0	41	0	100.0	
17	内田 悦嗣	24	0	6	0					4	0	15	0	1	0	6	0	56	0	100.0	1
18	深作 勇	24	0	6	0					4	0	15	0	1	0	6	0	56	0	100.0	1
19	醍醐 誠一	23	1			6	0			4	0			1	0			34	1	97.1	1
20	辻田 明	24	0			6	0	4	0					1	0			35	0	100.0	
21	高津 和夫	24	0	6	0					4	0			1	0			35	0	100.0	
合 計		503	1	41	1	42	0	42	0	84	0	134	1	21	0	54	0	921	3	99.7	

\*所属する委員会等の関係で各議員の出席すべき日数には差があります。(表中、議連=議会運営委員会・全協=全員協議会・議会だより=議会だより編集委員会の略です。)



# 各常任委員会の審査から

第4回定例会で所管の委員会に付託された各議案及び陳情は、12月8日教育民生常任委員会、9日建設経済常任委員会、10日総務常任委員会それぞれ審査されました。

ここでは紙面の関係で、委員会で行われた主な議案の質疑及びその答弁の要旨について掲載いたします。

## 総務常任委員会

議案第1号 平成15年度一般会計補正予算(第5号)

ICカード実証実験事業の内容についてご説明ください。

14年度までの実証実験の結果を踏まえて、ソフトウェアを改善し、標準システムの操作性を再評価することと、システム障害時などに利用者の支援をするために設置しているヘルプデスク機能との連絡の調整を再評価することとで実証実験を行ったところと。

来月4月のペイオフ解禁についてはどのようになっているのか収入役不在も踏まえてお聞きしたい。

ペイオフの問題については自治体間同士の勉強会あるいは情報収集を行い、引き続き検討していきたいと認識しています。

また、収入役不在ということについては遺漏なきよう対応しているところと。

が、前回の質疑でも、収入役は遺漏なきようには申しましたが、

短くなっています。その他についてはほとんど投票所と同様の形になっていきます。

## 教育民生常任委員会

議案第1号平成15年度一般会計補正予算(第5号)

障害者のホームヘルプサービスについて、支援費制度開始後の申請者数及び今後の新規申請者数の見通しについて伺います。

前年度10名の方が利用され、新年度に16名の方が申請されました。新たに16名の方が申請されました。措置から障害者みずからが受けたサービスを受けるといふ新しい制度でしたので希望者が前半急増しましたが、新規利用者という点では今後、前半のように急増することはないと考えています。ただ、個々のサービス利用は今後も増えていくでしょうし、身体障害者の方は約1300人いらっしゃいますので、今後もあと数年は増加傾向が続くと思います。

総合福祉センター維持管理で清掃業務に関する仕様の見直しは、衛生面も考慮して検討されたのか伺います。

6月から新しい仕様で清掃していただきますが、利用者からの苦情は今のところありません。しかし、特に児童センターは利用者が非常に多く、2日に一度清掃している図書室、視聴覚室、乳幼児の部屋は汚れが目立つことから、来年度に向け、毎日清掃するように仕様の変更を調整しています。

クラスタータイプの学校は校庭が狭いようですが、校庭面積の確保についてどのように考えているのかお答えください。

クラスタータイプの学校はクラスを分けて少人数教育だとか多様な学習形態に対応できるメリットがある反面、中廊下タイプと比べると敷地利用の面で校庭面積が圧迫されるということがあります。このことから仮称第15小学校については、校舎を3階建て、プールを体育館の上に配置して敷地の有効利用を図り、高洲小学校よりも約1000平方メートル広い校庭面積を確保しています。

幼稚園臨時職員等経費追加に際して、臨時職員が学級担任をしている現状を当初から想定していたのか伺います。

平成15年度は学級数が11学級と大幅に増えたため臨時職員で対応しなければなりませんでしたが、来年度は学級数が予想されませんが、今後はこのようなことがないように、計画的な職員配置に努めます。

## 建設経済常任委員会

議案第1号 平成15年度一般会計補正予算(第5号)

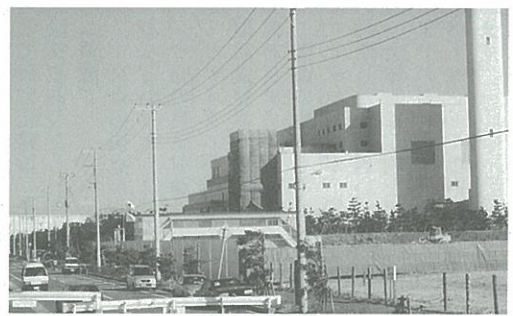
資源ごみ選別処理費のビンやペットボトルの処分をどこに委託しているのか、また、契約方法について伺います。

ビンの選別は、浦安清運に、ペットボトルの処分は、容器包装リサイクル協会にそれぞれ一社随意契約で委託しています。

畜場建設用地取得事業債の利率が年3%以内となっているが、今の実勢の利率はどれくらいなのかお尋ねします。

昨年度で実際に借りた事例では、0.7%から0.8%となっており、財務省の財政投融資関係では0.8%という形になっています。

議案第2号 平成15年度国民健康保健特別会計補正予算(第3号)



▲仮称浦安市畜場建築地(千鳥)

出産育児一時金一人当たり30万円の額の決定方法について伺います。

国からの金額の提示があり、これについては、国から3分の2の負担があります。

議案第3号 交通災害共済事業特別会計補正予算(第2号)

交通災害共済事業の廃止を考える場合、その分岐点をどれくらいと考えているのか伺います。

今後市としても加入制度の維持に努めることが大前提ですが、併せて、近隣市の動向等あるいは、加入状況の動向も踏まえながらいろいろな視点で検討していく必要があると考えています。

議案第9号ないし第11号 契約の締結について(仮称浦安市畜場建築・電気設備・機械設備工事請負)

畜場の基本的なコンセプトと他市の畜場と比較しての本市の畜場の特徴について伺います。

周辺環境や秘匿性に配慮した施設、畜場として機能的かつ効率的な施設、将来にわたり機能が容易に保持できる施設、利用者の心情に配慮した施設の4つの基本コンセプトとしています。他市の畜場との違いは、火葬炉の配置が背面方式というものにしたことにより、炉に入れる空間がその遺族だけの空間になるという遺族の心情に配慮した計画としており、それに準じた葬送動線が、他の施設配置計画をとっています。

## 可決された意見書(全文)

### 東京湾アクアライン通行料金値下げ要望に関する意見書

東京湾アクアラインは、昭和41年建設省により調査が開始され、平成9年12月に開通した費用一兆四四〇〇億円に及んだ夢のプロジェクトである。この橋の開通で東京・神奈川と半島性が強かった千葉との地域交流を活発にさせ、地域経済が相互に補完し合いながら発展すると期待された。しかし、通行料金の関係から当初予測した通行台数の3分の1しか通っておらず、同時に期待されていた、首都高速湾岸線、京葉道路、国道14、16号線などの渋滞緩和のバイパス線としての役割も果たしていない。平成15年現在の東京湾アクアラインの財政状況は、初期投資の支払い金利だけで九四四億円あり、既に通行料金収入だけでは、支払い金利の18%程度を満たすにすぎないと言われている。このまま、借入れを増やし続けていくと、当初予測していた返済計画を、達成することはできず、このままでは有効活用されないまま、負債だけが残ってしまう道路になると思われる。

昨年、民間有識者が交通や土地利用に関する分析技術を用いて、通行料金変化によるアクアラインの通行台数予測と、東京湾全体の幹線道路通行車両への影響もあわせて予測した。その結果、普通車を一〇〇〇円の分析基準を用いたところ、通行量は2倍となり、当初日額営業収支においては約一〇〇〇万円のマイナス収入となるものの、燃料費の節約・時間の節約により、東京湾を取り巻く10幹線道路全体では、約10倍の日額一億円もの経済効果が生じるとし、また、周辺の二酸化炭素を始めとする環境阻害物質が、6〜10%削減につながるという予測数値が出た。そして、分析基準を普通車八〇〇円にするさらには経済効果が2割程度高まるとしている。

公共事業はその利用価値を高めて、初めて納税者に経済効果が還元されるものであり、この道路を有効的に活用すれば、大きな経済効果が納税者にもたらされることになる。道路としての機能を最大限発揮できるような政策として、東京湾アクアライン通行料金大幅値下げの実施を要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

陳情の審査結果	
採択されたもの	
陳情第16号	東京湾アクアライン通行料金値下げ要望意見書採択に関する陳情
継続審査とされたもの	
陳情第10号	幼稚園・保育所の「一元化」、保育所調理室の必置規制撤廃論議に関する意見書提出の陳情
陳情第11号	「保育所運営費の一般財源化」に関する意見書提出の陳情
陳情第15号	13号道路の拡幅に関する陳情
陳情第17号	動物愛護市条例制定に関する陳情



# 決算の審査

第3回定例会で各常任委員会に付託された平成14年度各会計歳入歳出決算認定の審査は、10月20・21日総務常任委員会、10月23・24日教育民生常任委員会、10月27・28日建設経済常任委員会で行われ、収支の適法性、行政効果、予算の執行状況、さらには次年度予算への反映等を考慮して慎重に審査された結果、総務常任委員会及び建設経済常任委員会は認定すべきものと決しました。

この結果は11月28日の本会議で各常任委員長より報告が行われ、採決の結果、賛成多数で認定されました。

## 総務常任委員会

### (一般会計)

**問** 市税の徴収率を上げるために夜間や休日に徴収するなど努力はされたのか。

**答** 平成14年度は収税課職員による夜間の電話催告に重点を置き取り組みました。

**問** 第2期埋立地関連負担金の五億円とはどのようなものか。

**答** 日の出、明海、高洲の新興地域の住宅開発の進展に伴い、小中学校、保育園等の公益施設を整備してきましたが、これらの整備は、本市の財政負担への影響が大きいことから、千葉県企業庁、都市基盤整備公団と協議し、本市的には国庫補助金等歳入を除いた本市の一般財源相当分を負担いただいているもので、平成14年度は企業庁からの五億円です。

**問** 庁舎増築基金の現在高及び最終積立額について。

**答** 平成14年度末で六億九千九百三十八万円の積立額で、長期財政計画を立てた段階の最終見込額は、平成19年度までに七億五千万円を積み立てる計画です。

**問** 女性プラザが設置されましたが、安心して相談できるスペースになっているのか、また平成14年度の相談状況をお聞きします。

状況ですが、今後とも早めに督促して、幼稚園等と協力し合いながら未収納を少なくするよう努めてまいります。

**問** 家庭教育学級の実施に当たっての見解と成果について伺います。

**答** 家庭教育学級は昭和55年から始まった事業で、学級数が減少傾向にあり、近年、学び合うという形よりも個別に相談するということを希望する保護者が増えていることから運営形態などを検討し、13学級を開講するまでに至りました。

**問** さまざまな形で保護者のニーズがあると思いますので、いろいろな運営の仕方を取りながら、今後も続けていきたいと思えます。

**問** 私立保育所建設支援事業で、保育園待機児が多い中、平成14年度は、私立保育所の建設用地の取得だけで終わっている理由を伺います。

**答** 平成14年度に土地を購入し、事業者の募集を行っており、15年度にその事業者に設計を行っていただき、その設計に基づいて県へ保育所整備の協議を行います。

**問** 16年度に補助金の内示を受けた後建設に入り、17年度に開設というスケジュールになります。

**問** 順天堂浦安病院医療体制の整備事業補助金として一億円が支出されているが、その内容について伺います。

**答** 順天堂病院の整備について、市中から強く要請してきたところで、その中で急性心筋梗塞関係の冠動脈疾患の救急患者体制、24時間の利用可能な救急医療体制、あるいは出産児の高度集中医療を行う周産期医療関係について、救急医療体制の確保を図るという目的で補助金を支出しています。

## 教育民生常任委員会

### (一般会計)

**問** 幼稚園授業料の不納欠損と収入未済額に対する今後の考え方について伺います。

**答** 原則として2か月から3か月ぐらいいに郵送等で催告するとともに、幼稚園を通じて払っていただくようお願いしているところですが、転出等で収納が難しい

ているのかそのお考えをお聞かせください。

**問** 平成15年度に実施計画を策定する予定ですが、放置自転車対策の一つとしてのレンタサイクルというところで、駅前などといったスペースを設けて実施していくという基本的な考え方はありましたが、その規模や運用については、今後検討していきたいと考えています。

**問** 運動公園駐車場改修事業とありますが、今までの駐車場よりも台数が増えたのか、その内訳を教えてください。

**答** 運動公園駐車場改修事業ですが、この事業は運動公園前とテニス場前の仮設駐車場をつなげる目的で、平成15年度に繰越明許させていただいています。

**問** この事業により駐車台数的には若干減る可能性があります。

**答** そこで、今年度約100台分の臨時駐車場を今現在整備中です。

**問** 歩く道路パトロール事業の内容について伺います。

**答** 小学校の5、6年生を対象に、道路の果たす役割、機能について学ぶ機会が少ないことから、実際に歩いていただき、ポンプ場等も視察し、排水管等の埋設物を知るなど、現実に体験するものです。

**問** 斎場整備事業の問題で、環境影響評価業務を行ったようですが、この検査項目について伺います。

**答** 検査項目については、斎場プロジェクト対象物、千葉県条例のセメント対象物、千葉県条例の中の項目にも入っていません。

**問** ただ、火葬場という特殊な施設であることから、自主的に環境上問題がないかどうか、調査を行ったということか、結果といたしましては、問題ないということですか。

**答** 農業経営基盤強化交付金は、どのようなものなのか。

**問** この交付金については、国有農地の管理及び処分並びに売り渡しの対価、その他賃借料の徴収事務に対するものです。

## 平成14年度 決算に対する討論

### (賛成)

平成14年度は3つの点で意義がありました。第1は、市長1期目の仕上げの年度であったこと、そして第2期目のスタートでもあったことです。第2に基本構想、基本計画を策定し、その実践のための実施計画の初年度に当たったこと。第3に、簡素で効率的な行政を目指す新たな行政改革大綱の初年度に当たったこと。以上を踏まえて、反対理由を5点申し上げます。

第1に、監査委員による決算意見書で指摘された不納欠損です。第2に、市役所自体が環境に配慮した事業所としてどうかという問題です。第3に、PFI事業を選択した新浦安駅前複合施設についての意思決定過程の不透明さです。第4に、オリエンタルランド社との環境保全協定が未締結な点です。第5に、市長のいわゆる企業からの資金提供問題が起きた年であり、以上の5点の理由により反対します。

**(賛成)** 平成14年度は第1次実施計画のスタートの年となる重要な年でした。スタートはどうか切られたのか、この点から決算を見る必要があるのではないかと考えます。

財政状況はどうか。合格点を与えていかなくてはならないかと考えます。情報公開と公開討論にたえ得る市政運営について、大いに評価できるものと考えます。

子育て支援や駐輪場などの問題は課題解決に向けて大いに進展した年であったと感じます。また、特に強調したいのは、民間活力の導入です。平成14年度は持続可能性という観点からも賞賛すべきであると強く認識するものです。

**(反対)** 行政運営の前提は公正・清潔です。しかし、昨年発覚した市長の疑惑は明らかにされることなく、市長は市政運営を続けています。ここに、公正な市政運営が確認できないことは明らかであり、平成14年度決算の認定に反対する第1の理由です。

全国でもトップクラスの豊かさを誇る本市が、国のやり方をそのまま浦安市に持ち込むことは見過ごすことはできません。将来財源が必要なのは当然ですが、手数料の見直しや人件費削減という名目のもの民営化ではなく、計画の見直しや先送り、むだを徹くチェックするなど財源確保に努めることにより計画を進めていくべきではないでしょうか。平成14年度事業は評価できる事業もありますが、市長のものとで民営化路線、そして公正な行政運営が望まれない市長のものとで賛成であったという点で、反対討論とします。

**(賛成)** マクロの視点から少なくとも50パーセントを超えている賛成部分があるというときは、注文をつけながら賛成してまいります。今回の賛成討論もその手を挙げての賛成ではありません。

リサイクル事業をめぐる補助金の不正受給の問題、一六五億円余の財政調整基金の問題、堀江公民館の管理委託をめぐる不祥事の問題等があります。評価するところも非常に多い。

監査の見解も平成13年度に比べて数字的によくなっている。ミクロですが、議会を含めて費用弁償を廃止したことは非常に高く評価したいと思います。

全体的に5割を超える、採点すれば七、八十点とは思いますが、今までの流れの中で見るという決算だたのではないかと。しかし、30パーセントくらいは抜けている部分があると申し上げて賛成討論とします。

## 本市への視察訪問 (10月・12月)

- 10/2 石川県野々市町(図書館)
- 10/8 千葉県柏市(学校のバリアフリー)
- 11/5 千葉県柏市(図書館・学校のバリアフリー)
- 11/11 東京都あきる野市(図書館)
- 11/11 三重県伊勢市(電子自治体)
- 11/19 山口県下関市(小規模学校選択制度・幼稚園の預かり保育)

## 市議会ホームページのお知らせ

市議会のホームページでは、定例会の日程のお知らせや平成9年第1回定例会からの会議録などがご覧いただけます。また、議員個人が開設しているホームページへリンクしています。

ホームページアドレス  
<http://sv2.city.urayasu.chiba.jp/discuss>

## 編集後記

本号は、第4回定例会について編集いたしました。お気づきの点やご意見がございましたら、左記までお知らせください。浦安市猫実一丁目一番一号 浦安市議会事務局

編集後記  
三五一一一内線一八〇四  
三五一一一四〇

うらやす議会だより編集委員会  
◎ 深作 勇 ○ 金子 喜一

◎ 森野 卓郎 丹下 剛  
◎ 石井 清 広瀬 明子  
◎ 折本ひとみ 岡本 善徳  
◎ 内田 悦嗣  
◎ 委員長 ○ 副委員長